

令和5年度における各 PCB 処理事業の進捗状況について

1. 概況

JESCO 全体として令和5年度の PCB 処理事業は順調に進行した。令和5年度末の進捗率は、変圧器類（台）ではほぼ 100%（99.98%）（対前年度末 0.1 ポイント増）、コンデンサー類（台）で 99.9%（対前年度末 0.5 ポイント増）、PCB 油（t）ではほぼ 100%（99.99%）（対前年度末 1.5 ポイント増）、安定器・その他汚染物（t）で 94.1%（対前年度末 4.9 ポイント増）となった。

また、全5事業のうち、北九州、豊田、大阪 PCB 処理事業の3事業については、令和5年度末をもって全ての処理を終了した。

（1）北九州 PCB 処理事業

変圧器・コンデンサー等については、平成30年度末で全ての処理を終了している。平成16年12月の処理開始以来、累計の処理実績は、変圧器類：2,823台、コンデンサー類：59,403台である。

安定器・その他汚染物については、令和5年度は北九州事業エリア分 30t、大阪事業エリア分 89t、豊田事業エリア分 152t の処理を行い、全ての処理を終了した。平成21年7月の処理開始以来、累計の処理実績は、10,296t となった。

（2）豊田 PCB 処理事業

令和5年度は、変圧器類1台、コンデンサー類340台の処理を行い、全ての処理を終了した。平成17年9月の処理開始以来、累計の処理実績は、変圧器類：2,493台、コンデンサー類：79,136台となった。

（3）東京 PCB 処理事業

令和5年度は、コンデンサー類273台の処理を行った。令和5年度末の進捗率は、変圧器類が 99.9%、コンデンサー類が 99.4%となっており、順調に処理を進めている。

（4）大阪 PCB 処理事業

令和5年度は、コンデンサー類314台の処理を行い、全ての処理を終了した。平成18年10月の処理開始以来、累計の処理実績は、変圧器類：2,799台、コンデンサー類：85,340台となった。

（5）北海道 PCB 処理事業

令和5年度は、変圧器類9台、コンデンサー類784台の処理を行った。令和5年度末の進捗率は、変圧器類が 100%、コンデンサー類が 99.9%となっており、順調に処理を進めている。

安定器・その他汚染物については、令和5年度は北海道事業エリア分 160t、東京事業

エリア分 661t の処理を進め、令和 5 年度末の進捗率は 89.0% となっている。

2. 処理実績

令和 5 年度に、5 事業合計で、変圧器類を 10 台、コンデンサー類を 1,711 台、PCB 油類を 408 本、安定器・その他汚染物を 1,092 t 処理した。

試運転開始後これまでの処理量の合計は、変圧器類 16,043 台、コンデンサー類 379,068 台、PCB 油類 29,241 本、安定器・その他汚染物 20,779 t である。

各 PCB 処理事業の令和 5 年度月別処理実績を図 1 に示す。

○変圧器類

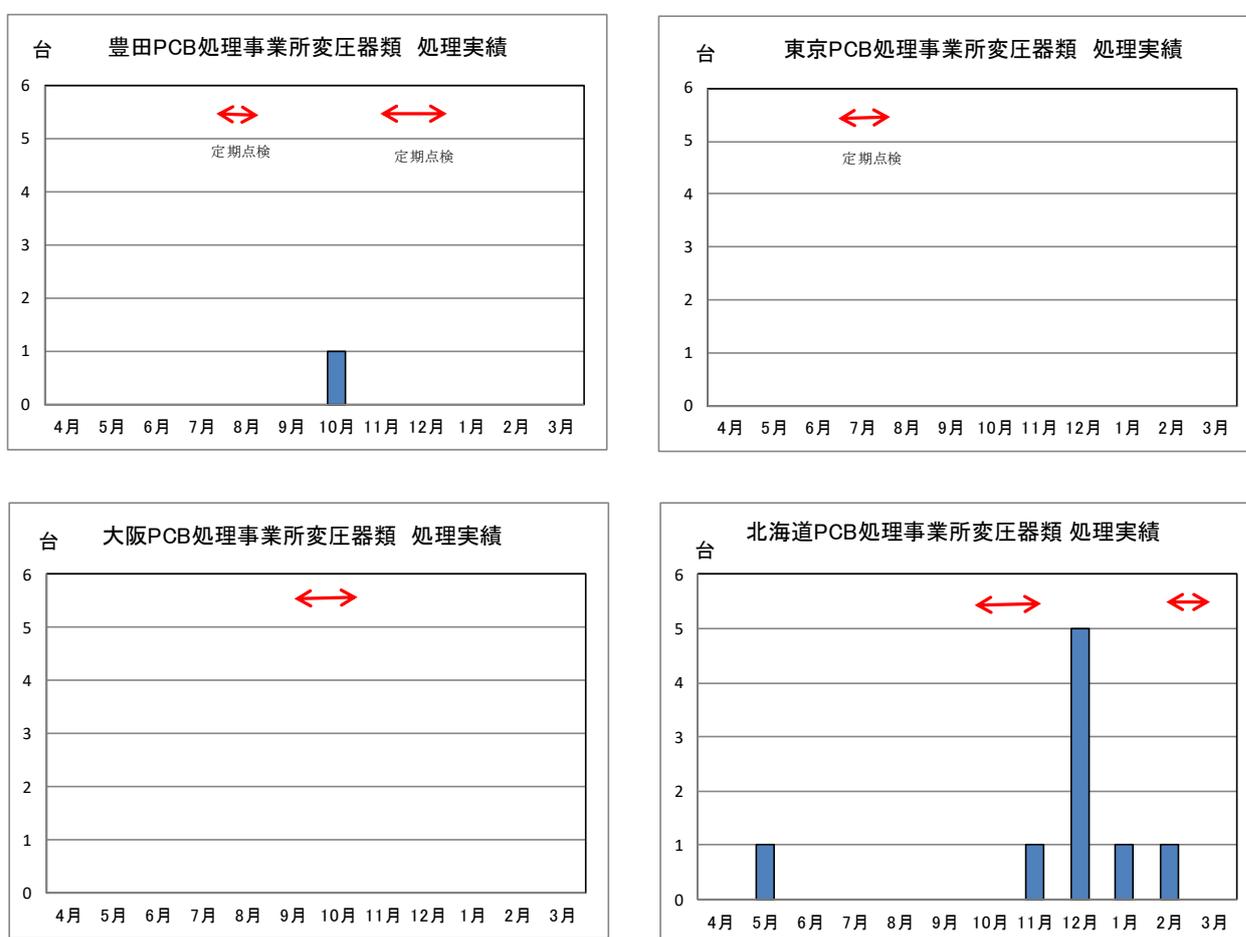
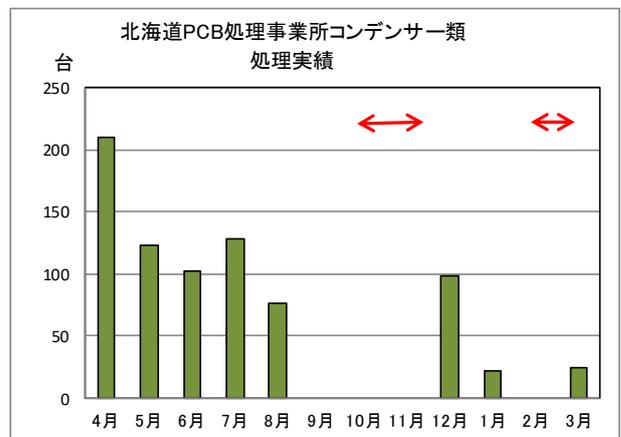
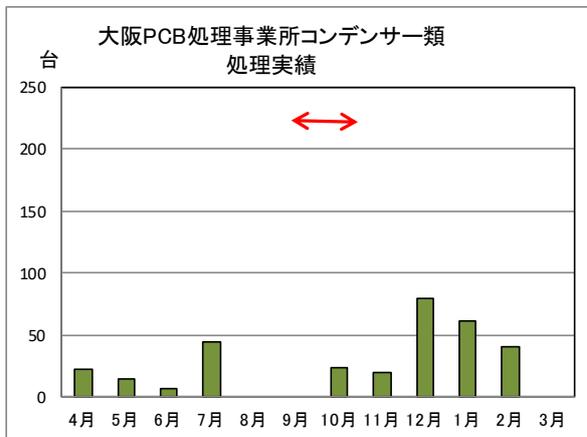
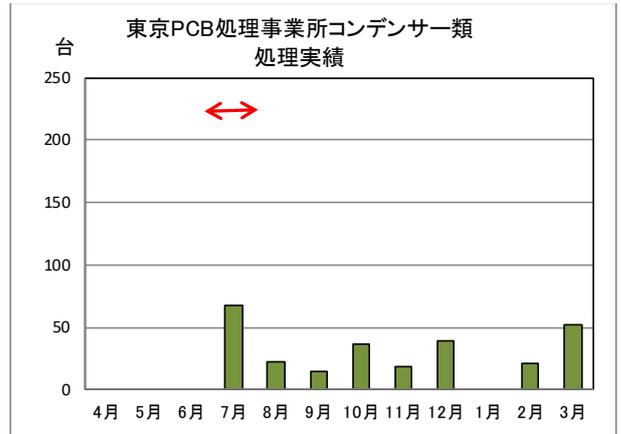
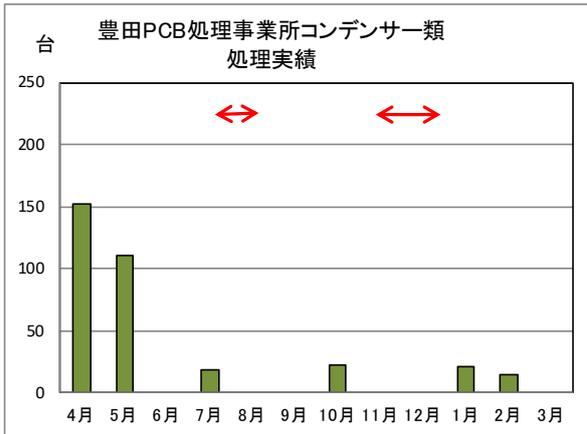


図 1 令和 5 年度月別処理実績

○ コンデンサー類



○ 安定器・その他汚染物（北九州事業所、北海道事業所）

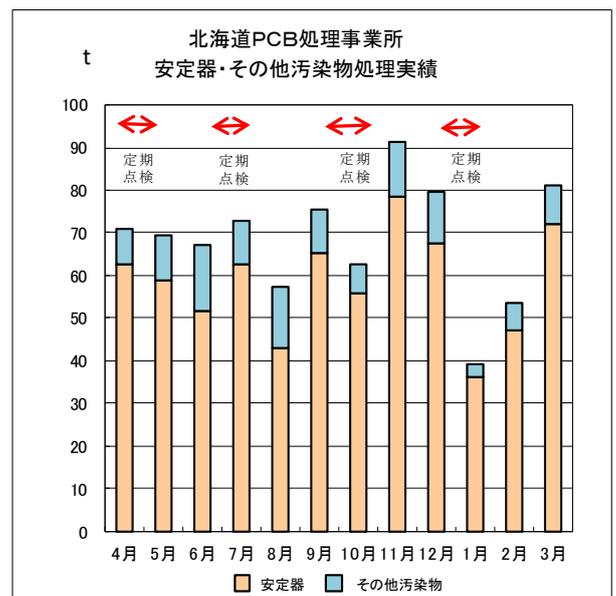
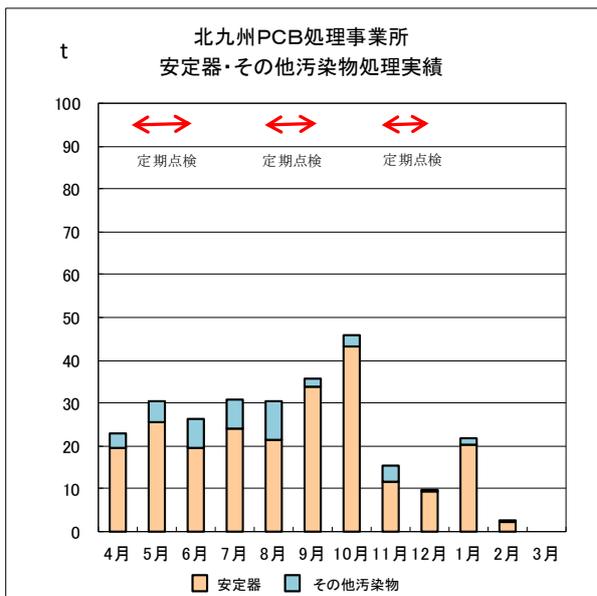


図1 令和5年度月別処理実績（続き）